

## インフルエンザワクチン→インフルエンザ

インフルエンザを予防します。

生後6カ月以上13歳未満：2回接種（6カ月から3歳未満0.25ml 3歳以上0.5ml）  
13歳以上：1回接種（0.5ml）

接種間隔は2~4週間ですが、2回目はできるだけ4週間程度あけて接種した方が免疫の獲得は良いと言われています。ワクチン接種をして十分効果が出るまでに2週間ほどかかります。毎年12月ごろにはインフルエンザの流行が始まりますのでできれば11月中遅くても年内には2回の接種が終わらせてください。

効果について

備え付き文書（大人での効果）の記載ですが、要約すると

- 3週間間隔で2回接種した後1カ月で77%が有効予防水準となる。
- 接種後3カ月は有効予防水準を保っていますが、5カ月たつと約50%の人しか有効予防水準を保てません
- 流行したインフルエンザウイルスの型がワクチンと合致すれば効果は3カ月持続する

例えば10月中旬に1回目、11月中旬に2回目を接種した場合、12月上旬から中旬には十分な抗体ができて2月中旬まではしっかり予防できます。4月中旬には十分な抗体を持つ人が50%まで減りますが効果は持続します。

77%の有効予防水準というのは、インフルエンザを予防できる量の抗体を持っている人が77%いるという意味です。

子どものワクチン効果は3歳未満と3歳以上で変わりますが3歳未満の方が抗体が出来にくいこと、A型に比べてB型の方が抗体が出来にくい傾向があります。